

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 4

平成26年12月13日発行

発刊元：塾熟出版（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

卒塾号

月曜コース
12月1日

個性を活かす「みせ」びらき —まとめとこれからの自主活動

みせ

ご卒業おめでとうございます！

◆大人塾に参加してみて何を感じた？

6月から始まったすぎなみ大人塾もいよいよ最終回。これまで講座内外で行った様々なお話・実践を含めてじっくりふりかえった。「出会い」「達成感」「これからも」という言葉が並ぶふりかえりの言葉。もしかして、ここからがスタートかも？（記事：坂本）



次世代に何かを残せればいいな／自分みせはできないけれど、人の輪が広がるようなことができたなら／「だがしや楽校」のチラシを作って友人にも来てもらえた。せつかくの出会い、これでさよならにはしたくない／下野市のだがしや楽校に参加した。他の地域とのだがしや楽校交流をやっていきたい／「大人塾ってなんだろう」から、だがしや楽校を経験して、なるほど！と思った。青梅にも行ったが、なんと出身地が一緒の人が。人のつながりの大切さを感じた／ゆるやかな講座。ゆるやかな打ち合わせにもかかわらず、だがしや楽校をすることができた。これも年の功？／「大人の放課後」とはなんだろうと考えていたが、遠くの親戚より近くの他人、と思えるようになった／地域のことを知りたくて来たら、たくさんの技を持った人に

びっくり！今では自分も折り紙を折れるように頑張っている／また大人塾に留年したいな、と思うくらい、みなさん前向きな考え方／もう少しだがしや楽校を理解したいと参加。まとめ役を任せられ、不安だったが、なんとかできて充実感／みんなで一緒になにかをやるということが久しぶり。視野を広げて生きていきたい／大人塾の実践を地元ですぐにはできないが、いつの日かの糧にしたい／地域という仕事以外の世界にこんなに面白い人達がいたのかと驚いた／普段、子育てをしていると出会わない世代の方や地域の方とつながることができた／大人塾は地域に目を向けるために耕してくれるところ



学習支援者・補助者からの言葉

松田道雄さんより

ご卒業まことにおめでとうございます！

毎回の講座、そして、荻窪教会通りでの「個性を活かしたみせびらき」と楽しい時間をともに過ごさせていただき、感謝申し上げます。

赤ちゃんを見つめるとニコニコ応答し、大人はそのしぐさにまた心動かされます。人の最大の特徴は、相互作用によって成長していくことです。ともすると、日々の忙しさに忘れがちですが、あらためて童心にかえてだれかに「自分(の活動)をみせる」行為をしてみることで、人は人とかがわって共に社会の中で生きているという意識を再発見できるのではないかと思います。

これからが皆様の地域活動の本番です！どこかの建物の中や青空の下で、個性を活かしたみせびらきが、杉並のあちこちで行われることを楽しみにしております。



谷原博子さんより 「次は皆さんの出番です！」

荻窪のまちで学び合った半年、発見と驚き、楽しさ

満載でしたね。お気に入りの品を持ち寄っての1日目では、皆さんの語りが魅力的で個性が輝いて、すでに自分見せの世界が出来上がっていました。最終回は、大人になって学ぶことのすばらしさを私のほうが学ばせていただきました。さあ、次は皆さんの手でこの学びをおすそ分けしていきましょう。

きっと、また新たな発見と出会いがあるはずですよ。寒い季節に向かう中、本日、卒塾を迎えられた皆さん、いつもいつもあたたかな気持ちささげていただいたことに心から感謝申し上げます。

卒塾おめでとうございます。これからも応援してまいります。



アソビバージョン宣言



▼アソビノベーション入門もついに終結…

5月から始まったアソビノベーションもついに最終日。まち遊びコレクションの振り返りを少しした後、「生活や仕事の中で、求められている『遊び』とは?」「大人塾を通しての気づき・得たこと」「私のアソビノベーション宣言」をそれぞれの受講生に書いて頂き、一人ずつ発表した。宣言には、みなそれぞれの思いが込められており、今回「完結」とはいえ、このアソビノベーションがまだまだ様々な形で展開しそうな雰囲気。そう、アソビはこれからでもあるのだ。(文：瀬山)

アソビノベーション宣言 (一部抜粋)

- ・思いついたことは、とりあえずやってみる
- ・日常の中に「クスッ」「アハハ」「大笑」がある遊びをしていきます!
- ・すぎなみの THE ホイジンガーになる!!
- ・あそべないときでもあそび心をわすれない
- ・年をとっても、じーさんになっても住んでいる地域で遊び倒すぞ!
- ・卒業しても、仲良くなった仲間たちと一緒に遊びたい!
- ・身近にいて接点がない人に心をオープンにする
- ・自分を揺らして周りを揺らしてさらに自分も揺れる
- ・毎日を遊ぶ 世界を遊ぶ ・自分も周りも笑顔に☆
- ・自分が面白く思うことで周りの人も楽しくなる
- ・遊びとは最終的には命賭け ・一日一遊
- ・2014 アソビノベーションはあくまでスタート
- ・家から、常識から、思い込みから、ルーティンワークから、自分を否定する気持ちから、飛び出そう。
- ・勇気を出して「遊び」やってみます



学習支援者/補助者より

今年の大人塾で、一番、学ばせてもらったのは、僕ではないかと思っています。みなさんが遊ぶ姿、それをふりかえっての言葉の一つひとつが、僕にとって大きなヒントになり、講座や授業のあり方を考えなおすきっかけになりました。声をかけあうことから、社会は始まります。やるべきことがあるから声をかけるよりも、「一緒に遊ぼう」という声をかける方がずっとおもしろいし、声をかけてもらった方もうれしい。そんな声をかけあえる友達を増やしていくことが、今の社会にはとても大切なのだと気づきました。ありがとうございました!

学習支援者: 広石 拓司



最近キムタクが某CMで、「人間の脳は、会議室なんかより体を動かしているときのほうがよく働くんです。ボクは遊んでいるように見えるときが一番仕事してますね。」って言ってます。キムタクは大人塾生なのかもしれません。いや、あれは実はキムタクじゃなくてヒロタク(広石さん)なのかもしれない。そうに違いない。なにか地味で面白い遊びを思いついた時は呼んでください。これからもよろしくお願いします。

学習支援補助者: 齋藤 志野歩